

誰もが人間として生きていくうえで
 侵すことのできない当然の権利
 これが『人権』です

公民館リーダー研修会

7月11日(火)に千寿苑において公民館リーダー研修会が開催されました。
 本研修会は、地域社会の拠点である公民館の活性化及び生涯学習の推進を目的に開催されるもので、本年度は、南関町教育長である大里耕守さんをお迎えし、「誰もがかがやく「人権の街づくり」をめざして」と題し、講演をしていただきました。



大里 耕守 さん

講演では、映像を使いながらわかりやすく人権の重要性や部落差別との出会い等お話しいただきました。

◇◇◇◇ 人権を考える町民の集い ◇◇◇◇

7月27日(木)に千寿苑において山都町人権を考える町民の集いが開催されました。
 講師に、おおいた観光特使である矢野大和(やのたいわ)さんをお迎えし、「笑って元気～身近な人権を考えてみよう～」と題し、講演していただきました。
 講演では、ユーモアあふれる語り口で、生活の中にある身近な人権についてお話ししていただきました。
 参加者からは、「肯定的に生きることが大切であると思いました」「何気ない日常の中にあるいろんな偏見や考え方の違いに気づかされました」などのご意見を頂きました。



矢野 大和 さん

高齢者・障がい者の人権あんしん相談強化週間について

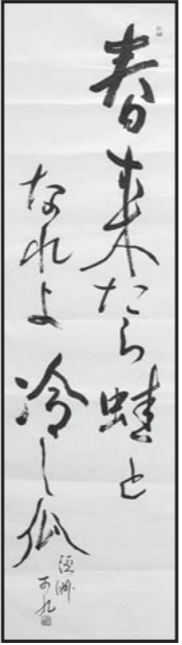
高齢者や障がい者に対し暴力・虐待は依然として数多く発生しています。これら高齢者や障がい者をめぐる様々な人権問題の解決を図るため、あんしん相談を行っています。
 ▼期 間 9月4日(月)から9月10日(日)
 ▼受付期間 午前8時半～午後7時
 ※9日(土)と10日(日)は午前10時～午後5時まで
 ▼電話相談 (☎0570-003-110)
 ▼問い合わせ先 健康福祉課人権センター (☎72-2031)
 熊本地方務局人権擁護課 (☎096-364-2192)

高齢者・障がい者のための成年後見相談会のお知らせ

成年後見制度や相続・遺言、財産管理、福祉サービスの利用などについて、司法書士と社会福祉士が無料で相談に応じます。秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。
 ▼日 時 9月16日(土) 午前10時～午後4時
 ▼場 所 熊本県司法書士会館
 ▼方 法 面談相談(予約不要)
 電話相談(当日相談専用電話番号)
 (☎096-364-0800)
 ▼問い合わせ先 熊本県司法書士会事務局 (☎096-364-2889)

書道

和光教室書道部



大塚 憲一さん(米生) 作

季節のうた

馬見原酔山会

田植機に 運動靴の 運転手 兼瀬 哲治
 ピレネーの 夏空に驚 悠然と 工藤美智子
 白靴の 夫の後ろの 若さかな 橋本みどり
 やまなみの会「山脈」
 地震あとの 壁の手入れや 梅雨に入る 今村 芳子
 雅とは この彩のこと 花菖蒲 岩村ヨシ子
 身軽なる 気儘な旅や 竹落葉 橋本 恵子
 出遅れし畑仕事に励まんと帽子のひもをキリリと結ぶ 古閑比奈子
 妻と一玉葱掘りて収穫す収穫の祝いビールで乾杯 本田 七郎
 散歩する途中で出会う村人に「良くなったの」と声かけられる 本田健二郎

通潤句会

親鸞の書を読み継ぐや五月雨 村上 園江
 父母の心音聞こゆ藤寝椅子 菊池 幸子
 息合はずごと光り合ふ草蜚 中村 暢子

清和短歌会

辻角に食糧増産の小さな碑世の豊かさを眩しく見守る 大塚 豊司
 六月に生まれし孫の幸祈り満開に咲く紫陽花を見る 山本 フサ
 春卯月霞立ちゆく彼の空に消え果て逝きし床しき人は 平川 亘

山都町の人口

[平成29年7月31日現在]

男	7,477人 (2)
女	8,066人 (-16)
計	15,543人 (-14)
世帯	6,588戸 (0)

※()は前月比
 ※最高齢は107歳(女性1人)
 ※平成29年7月の出生者数 4人
 ※平成29年7月の死亡者数 25人

編集後記

各地で行われているイベントも今年は雨に降られる事も少なく、賑わいをみせています。8月後半からはいよいよ3週連続で、町の3大祭りが開催されます!!
 5月号で掲載しました「まちづくり・地域づくり」についてはまだまだ募集中です。スポーツクラブ、様々な部会、趣味の集まりなど、ふだん活動されているグループでの応募お待ちしております!! 応募につきましては、企画政策課までお尋ねください。
 毎日うるような暑さが続いています。屋外で作業される方はもちろん、室内にいる方も水分補給などを意識的に行い、熱中症や脱水症にならないよう、お気をつけください。(坂本)

重要文化財「通潤橋」保存修理工事



6月初めからおおよそ2ヶ月にわたり行ってきた橋上の被覆土の掘削は、7月末日をもって予定範囲部分を完了しました。これにより、17年ぶりに、建造当初の通水管が現れています。(写真左：湾曲して配置された通水管の様子)
 また、土の掘削と平行して、地震により外側へせりだした石垣の対応について、文化庁や専門家と検討を重ね、修理を実施しました。地震によるズレの大きかった箇所では、手摺石(石垣の上部から2段目まで)部分の積み直しを行いました。(写真右)